

世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド) 拠出金

令和4年11月8日

内閣官房行政改革推進本部事務局

説明資料

本年の秋のレビューの方針

E B P Mの手法を各府省庁に幅広く普及させていく「起点」としての議論を行う

- E B P Mの手法を全事業（5,000事業）に波及させ、**底上げを図る**ことを目指す
- 個別事業の要否ではなく、E B P Mの手法の実践に向けた**改善策を中心に議論**を行う

セッション1（個別事業）

- **全事業でのE B P Mの手法の実践**に向けて、原則各省1テーマずつ選定
- **政策の効果の向上や、柔軟な見直しに資する方策を中心に議論**
 - ・ ロジックの確認
 - ・ 初期・最終アウトカム（成果目標・指標）の的確な設定
 - ・ 効果測定方法の改善などの論点を設定

セッション2（今後の行政事業レビューの改善について）

- 11月10日（木） 14：15～15：45
- セッション1の議論等を踏まえ、**行政事業レビューをE B P Mの実践に繋げていくための具体的方策**について議論

事業概要等

事業概要

持続可能な開発目標（SDGs）のゴール3で掲げられている三大感染症（エイズ・結核・マラリア）の終息達成に寄与するため、低・中所得国でこれらの感染症の対策支援を行うグローバルファンドに対して資金供与を実施。

レビューシート 上の情報

アクティビティ

途上国における三大感染症の対策を支援

アウトプット

三大感染症に係る検査・治療や物品の供与を受けた人数

初期アウトカム

途上国における三大感染症による死亡者数の減少率

最終アウトカム

インパクト

2030年までに三大感染症を終息させる

背景・問題意識

1 拠出額の大きさ

- ・ 令和4年度当初予算額は約74億円。
外務省の任意拠出金の中でも金額が大きい。
- ・ 我が国として、次の増資期間
(2023~2025年)に最大10.8億ドルを新たに
拠出することを表明。

2 拠出の効果等について

- ・ グローバルファンドが設定した目標年度の
令和8年度まで、成果実績を把握できない。
- ・ 理事会において、単独議席を保持している
が、グローバルファンドの活動にどの程度の
影響力を発揮できているか見えにくい状況。

3 問題意識

国民に対して拠出の妥当性や必要性を示すため、効果の把握方法や
グローバルファンドへの関与の在り方を検討する必要があるのではないか。

(参考1) 拠出額の比較

外務省が所管する任意拠出金のうち、令和4年度当初予算額が大きい順に10事業を記載

番号	事業名	令和4年度 当初予算額 (百万円)	令和3年度 補正後予算額 (百万円)
1	世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）拠出金	7,386	20,000
2	国際連合開発計画（UNDP）拠出金（コア・ファンド）	6,958	6,822
3	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）拠出金	3,527	8,502
4	国際機関職員派遣信託基金拠出金（JPO）	2,539	2,339
5	国際連合児童基金（UNICEF）拠出金	2,087	6,211
6	国際連合人口基金（UNFPA）拠出金	1,950	2,786
7	親日派・知日派育成のための交流拡充拠出金 （対日理解促進交流プログラム）	1,897	1,679
8	Gavi ワクチンアライアンス拠出金	1,080	71,159
9	国際連合人間の安全保障基金拠出金	598	778
10	国際連合世界食糧計画（WFP）拠出金	540	7,572

注）Gaviワクチンアライアンス拠出金は、途上国への新型コロナ・ワクチン普及支援として、令和3年度補正予算で70,100百万円を計上。

(参考2) 成果実績について

令和4年度行政事業レビューシート（サマリー・試行版）【抜粋】

成果指標 (初期アウトカム) (最終アウトカム)	途上国におけるエイズ死亡者数の減少率（2020年比）						途上国における結核死亡者数の減少率（2020年比）						途上国におけるマラリア死亡者数の減少率（2020年比）									
	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度				
成果実績 (初期アウトカム) (最終アウトカム)	成果実績	%	-	-	-	-	-	成果実績	%	-	-	-	-	-	-	成果実績	%	-	-	-	-	-
	目標値	%	-	-	-	59	目標値	%	-	-	-	-	59	目標値	%	-	-	-	-	65		
	達成度	%	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-		

主な論点

- 本事業の成果実績をどのように把握しているか。また、次の増資期間の目標として掲げられた保健システムの強化について、効果検証を行う体制が整備されているか。
- 我が国が重視する分野の取組が行われることに加え、日本の貢献のビジビリティ向上や、資金活用の効率性・透明性確保などの観点から、グローバルファンドにどのような働きかけを行い、当該ファンドの活動にどの程度反映されているか。
- 拠出によってもたらされる我が国への裨益をどのように捉え、その最大化にどのように取り組んでいるか。